

一橋 三朗一

魂の企業

歴史に人あり 人に志あり 企業に魂あり

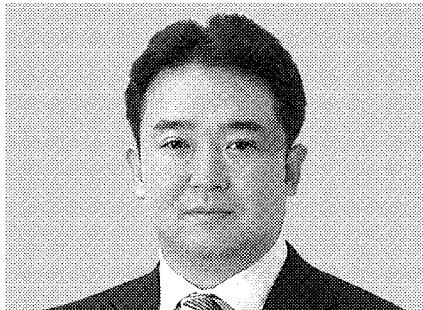
2013年 会津藩と幕末英雄譚

人は誰も生まれてくる時代と場所を択べない。だからその道のりがどんなに過酷で、どんなに厳しく困難であったとしても、常に前向きに逞しく人生を切り開いてゆかねばならない宿命を背負っている。今から約150年前、激流のような時代の中で会津藩はいわれのない朝敵の汚名を着せられて、武士はもちろのこと婦女子、少年たちまでもが、押し寄せる新政府軍に対し少しもひるむことなく勇敢に戦った。それは「義の重きにつく」という藩祖・保科正之以来受け継がれてきた会津藩ならではの家風であり、たとえそれが時代に逆行するものであったとしても揺らぐことはなかったのである。

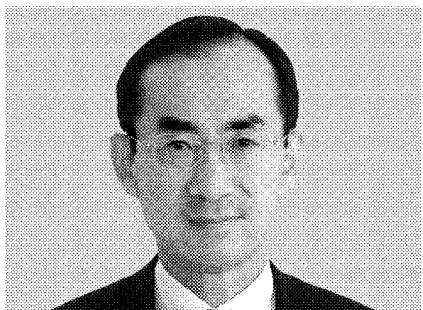
会津藩は教育にひときり厳しい藩だった。男子は幼少の頃から「ならぬことはならぬ」のだという正義の

精神を叩きこまれ、女子への教育方針は「凛々しくあれ」であった。ゆえに娘が嫁ぐとき、父親は懐剣を渡した。一つは身を守るため、もう一つは「何事かあれば家名を汚すことなく命を絶て」との思いだった。戊辰戦争で会津藩が他藩に比べて女性の戦死者が多かったのは、こうした会津女性の誇りの大きさからだ。

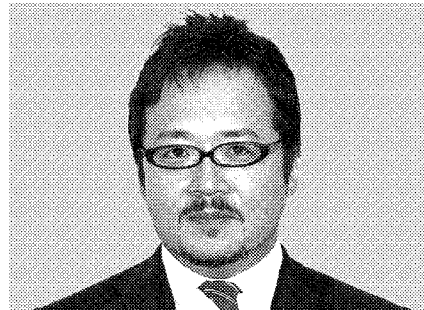
2011年3月11日、東日本を襲ったマグニチュード9の大地震と想定をはるかに上回る大津波によって、東北地方は未曾有の不幸と苦難を強いられている。今こそ国を挙げてこの危機を乗り越えるときだ。かつての会津藩の人々のように、しっかりと未来を見据えて固く心を結び新たな歴史と美しい郷土を創っていかうではないか。今、150年の時空を超えてその勇気と気概を学びたい。

**(株)ビットアイル**代表取締役社長 寺田 航平氏
東京都品川区東品川2-5-5

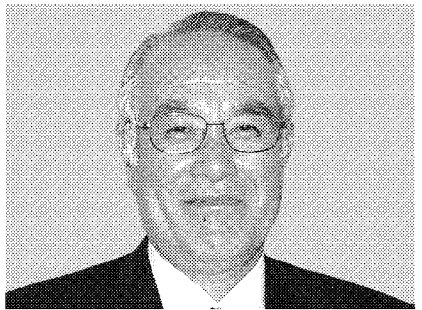
勝海舟は一八六〇年に咸臨丸で日本人初の太平洋横断に成功した気鋭の幕臣。蘭学や兵学に優れ諸藩の志士とも盛んに交わった。山本覚馬の洋学の師でもある。維新後はアメリカ力から帰国した新島襄に学校設立を助言し、その実現に向けて尽力したこの時代白眉の先覚者だ。都市型データセンターの運営でネットワークインフラを支える21世紀型高感度企業。総合ITアウトソーシングサービスを構築してビットアイルグループを形成。幅広いITの活用を支えている。企業活動の生命線である情報システムの確実な運用を使命とし、24時間365日眠ることのない時代の先覚者だ。

**インフォメーション・システムサービス(株)**代表取締役社長 中川 透氏
東京都北区赤羽2-51-3

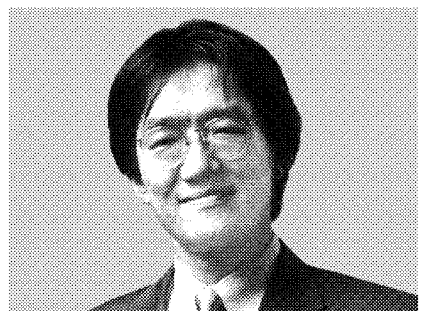
有栖川宮熾仁親王は尊攘運動を支持し、幕府の倒壊の後に、王政復古後新政府の総裁となり、戊辰戦争に東征大総督・西南戦争に征討総督として出征した。和宮親子内親王と婚姻していたが、和宮は公武合体の象徴の役目を担って徳川に降嫁。後半生は軍人として活躍した異色の皇族だ。IBM社製など各メーカーのコンピュータ保守サービスを始め、中古も含めた機器販売を確かな技術で提供。豊富な経験を持つ専門家を多数擁し、ハードウェアを接点にメーカーの視点に捉われない情報システムの創造に邁進する異色の存在だ。大手金融機関・政府機関・大学等がコストメリットを認めている。

**(株)条川印刷**代表取締役社長 高尾野 健氏
東京都文京区大塚6-9-7

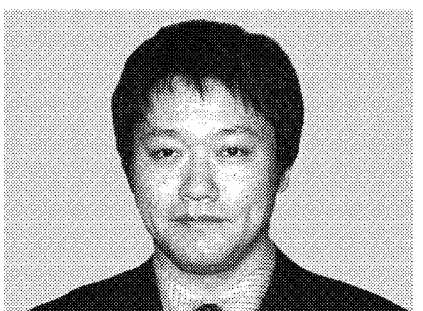
明治天皇は孝明天皇の急死を受けて十六歳の若さで即位。大政奉還を受けて王政復古の大号令や五箇条の御誓文の宣布など、新政府の基本方針を示した。版籍奉還や藩置県の断行を経て、天皇を頂点とする中央集権体制を確立。日本という国の近代化に貢献した百二十二代天皇だ。昭和29年設立以来の信用と実績を紡ぎながら、新しい時代に呼応。独自の「クマカワバリュー」を織りこんで「品質・納期・価格のバランス」がとれたサービスを実践している。機械任せにせず、常に繊細な注意力、緊張感を持ち続けるプロ集団だ。インクの由に耳を傾ける真摯さ、志の高さが「クマカワ」の原点である。

**(株)ビジネス・スポーツ**代表取締役社長 与謝野 肇氏
東京都千代田区平河町1-7-17

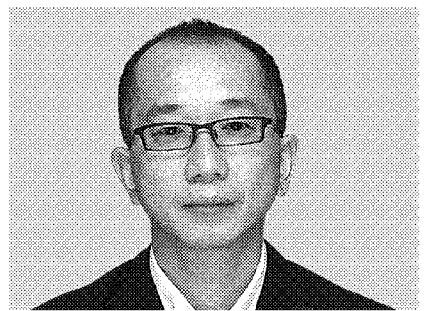
佐久間象山は「和魂洋才」を唱え、外国文化・技術を積極的に評価した開国論の先駆者。勝海舟、山本覚馬、吉田松陰らを門下生とした幕末の兵学・洋学の第一人者だ。儒学から蘭学・兵法までの幅広い知識・独特のカリスマ性をもって象山塾は幕末における梁山泊の模範を呈した。企業の採用活動でのミスマッチ回避や人材流出の防止、また学生の適職傾向把握に役立つ「BPASテスト」の普及に尽力。近年では採用時のみならず、人材育成の研修プログラム提供や、人事・組織の総合ソリューションまで事業領域を広げている。幅広い知識と独特のカリスマ性が、同社伸展の礎といえよう。

**(株)エフビーアイ・コミュニケーションズ**代表取締役 福田 光洋氏
東京都渋谷区神宮前2-26-8

徳川家茂は将軍継嗣問題で、井伊直弼ら南紀派に擁立された紀州藩主。一橋派の推す一橋慶喜と対抗するも十四代将軍に就任した。公武合体の一環として孝明天皇の妹和宮と結婚。三代将軍家光以来の上洛を果たし、朝廷と幕府の融和に尽力したがその思いは時代の波に流された。設立以来、多言語展開・IRの重要性、新しいコミュニケーションツールの開発など、常に革新的なコミュニケーションを追求し続けている。業界白眉の開業企業。新聞発の「ステークホルダーPGI」は「企業実態(マネジメント)と各ステークホルダーの認識ギャップを解消する究極の調査サービスである。

**(株)エンシユアテクノロジー**代表取締役 綿引 淳氏
東京都港区港南4-1-6

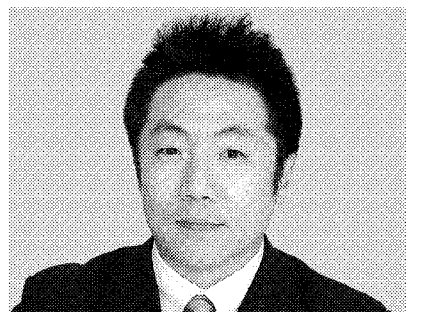
河井継之助は越後長岡藩を背負った気概の名豪。藩祖牧野氏の「常任戦場の精神」を受け継ぎ、平素の生活でも戦場に居るかの如く動き、常に危機管理を創意工夫する家風を徹底。藩に会津征討の命が出された中、開戦を決定したのは譜代としての徳川に対する忠誠心からである。安全性、利便性、柔軟性の3つを同時に実現し、より確かな安心に結びつけることを志向。IDCサービス、コンサルティングサービス、システム開発、フィールドサービス、プロダクトなどの領域をもち、デジタルネットワーク社会において「常在戦場の精神」で、常に新しい価値の創造へ挑戦し続けていく気概だ。

**コンテンツワークス(株)**代表取締役社長 荻野 明彦氏
東京都千代田区神田神保町2-4

東久世通禧は参府兼外国事務取調掛としてヨーロッパ列強と交渉に当たった俊秀。英公使パークスの人間性にあふれた心から敬服し、王政復古を宣言する国書を渡し、備前藩兵が外国人へ発砲した「神戸事件」の解決と外国人保護の意向を伝えた。新政府初めの外交官の活躍だった。「コンテンツを築く文化」の創出をミッションに、業界初の斬新な商品を生み出し、先遣派企業。一冊から出版・製本を可能にしたオンデマンド出版サービス「BookPark」は、絶版や欠本がなくタイムリーな情報提供を実現。講談社、小学館、富士ゼロックス、マイクロソフトが出資する正統派であるのも活躍の所以。

**(株)スタンダードマーク**代表取締役 時数 賢司氏
東京都千代田区西神田2-7-4

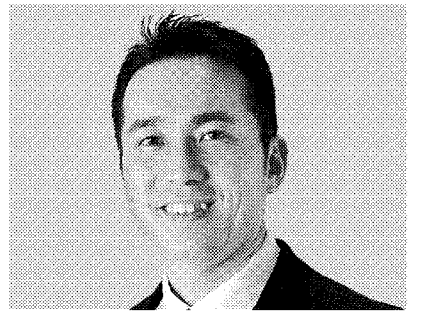
堀田正睦は下総佐倉藩主。西洋医学を奨励するなど蘭学を好んだ。また学制改革、財政改革、農政改革に手腕を発揮し、幕政にも参与。開国論を主張して老中首座となる。外交においても中樞を担い、アメリカ領事・ハリスと面談。日米修好通商条約の動向を得るため上った。小さくともキラリと光る感性と技術力を併せもち、独特の信頼評価を培っている。店舗デザイン、設計管理・施工管理を得意とし、既成概念に捉われない新しい常識の創造に常に努め、その活躍舞台は中国まで幅広い。不退転の強い意志と旺盛なチャレンジ精神も特色で成功するまで諦めない攻めの社風が基盤だ。

**(株)シアードバリュー・コーポレーション**代表取締役 小林 秀司氏
東京都千代田区神田神保町2-17

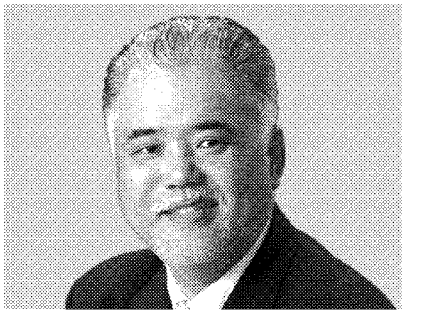
松方正義は島津久光の側近として生麦事件、寺田屋事件に関係し、維新の際、国事に尽くし大久保利通より力量を認められた。明治新政府では財政家として名を成し、政府紙幣の整理と兌換紙幣である日本銀行券の発行に尽力したほか、内閣総理大臣を二度務めた薩摩の元老である。理念経営の導入支援と持続的な安定経営を実現する労務管理体制の構築支援を中心に、企業が社員を大切にしたい、また社員が企業を大切に想う、そんな理想の会社環境づくりに提案、推進している。資本の力ではなく、理念の力が優る会社が愛され輝く人本主義社会では、水先案内人を務める同社の存在が肝要だ。

**トッププランニング(株)**代表取締役 岸 健太郎氏
東京都渋谷区道玄坂1-16-15

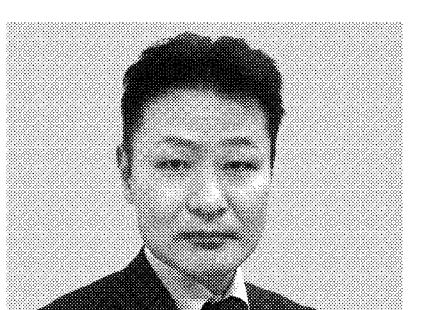
徳川昭武は徳川斉昭の十八男で慶喜の弟。一八七七年(慶喜三年)、パリ万国博覧会に慶喜の名代として参加し、幕府外交に重要な役割を果たした。欧州各国皇帝と親交を結び、西洋文明社会と直接接した経験から国際派の将軍になったはずだ。将に将たる器量も備えていた英才。オールインワンをモットーにしているオフィスコンサルティングの英才。物件探しから引越、開業まで幅広い事業内容で、オフィスの移転をトータルサポートしている。若いエネルギーと鋭い感性で一つひとつの案件へ誠実丁寧に取り組み、一任せてよかったという声が多い。主要国内メーカーとの信頼も万全だ。

**(有)トロフィー佐藤**代表取締役 佐藤 健志氏
東京都墨田区東駒形1-5-5

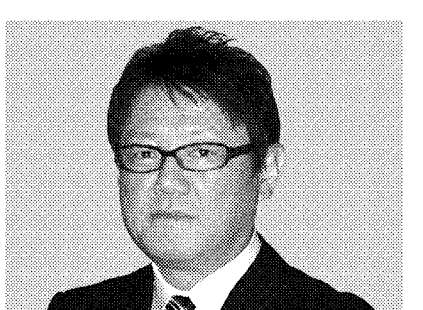
福沢諭吉は彰義隊と新政府軍が火花を散らした戦ったためには和蘭に於ける出島と同様、世の中に如何なる騒動があっても、未だかつて洋学の命脈を絶やしたことはないぞよ。世間に傾着するなと塾生を叱咤し、講義を続けた明治の先覚者だ。創業以来、トフィー・カップ・レリーフなどの金属製品を企画製造。文化・スポーツイベントの表彰品だけでなく、有名企業の企業表彰品も多く手がけている業界の先覚者。培ってきたノウハウを活かして東京スカイツリーオフィシャルショップで販売するグッズ製作にも参入、地元企業代表としての面目躍如だ。

**ストラコム(株)**代表取締役 坂本 憲志氏
東京都中央区日本橋2-2-3

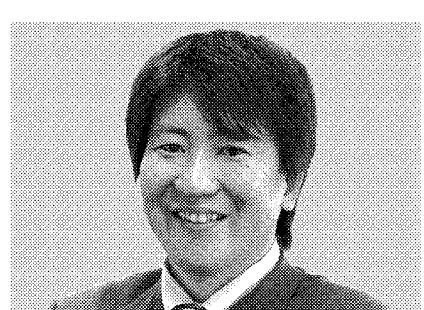
小林虎三郎は戊辰戦争で敗れた長岡藩の文武総督大参事。城下は焼かれ、人々が飢饉にあえぐ中、「食えないからこそ教育を」と学校を最初に復興させた。その際、三根山藩から贈られた百俵の米を教育資金にまわしている。これが米百俵の故事となる。小林の教育第一主義の原点だ。依頼先の企業文化を最大限に活用した変革を実現すべく、究極の顧客志向営業法を提案。戦略とコミュニケーションを重視したコンサルティング、教育、研修等を通じて具現化を目指す。顧客を成功へと導く最短ルートは、その取引先のビジョンや目標を実現させることと標榜。まさに「米百俵」さながらの先見だ。

**(株)サクシード**代表取締役社長 高木 毅氏
東京都港区高田馬場1-30-15

野口英世は耶麻郡三ツ和村(現・猪苗代町)の貧しい農家に生まれながら、努力に努力を重ねて「ハルル」賞候補にもなった世界的な細菌学者。一歳半の頃に左手に火傷を負うが、不屈の向上心と勤勉さで困難を乗り越え医学を志した。会津魂で世界に君臨した会津の誇る偉人である。一人ひとりの個性を尊重し才能を開花させる家庭教師派遣の優秀企業。全国トップクラスの教師、講師の登録数と質の良さを誇っており、学校教育だけでは行き届かないキメの細かい対応で名伯楽として評判も上々だ。努力することの大切さを知り、教師との強い信頼関係を築いていく、それが「成功」の根幹である。

**(株)エージエント・スミス**代表取締役 山菅 利彦氏
東京都港区東麻布1-8-4

緒方洪庵は島津重豪の次子で、福沢諭吉、橋本左内など、幕末維新の俊秀を数多く輩出した大坂通商の塾主。その門下は三千人を超え、「諸生には医者、兵学者から砲術家、舎密(化学)家まで、凡そ当時蘭学を志す程の人は皆比鄰に入りて其支度をなす」と称えられた登竜門である。「次世代ITサービスの創出と提供」を標榜し、様々な業界で大規模システムの構築を手掛けてきたIT技術のフロンティア集団。豊富なノウハウと経験を持ったスタッフが、顧客のIT担当者の代行として業務を推進。質の高いサービスでのサポートは、凡そIT活動を志す企業にとって頼れる存在だ。

**(株)制御技研**代表取締役 吉田 篤司氏
東京都中央区東日本橋2-28-5

千葉一胤(重太郎)は、北辰一刀流・千葉定吉の長男。剣技に優れていたのはもちろんのこと、学識も豊かで一道場の経営者・流派の師匠という枠には収まらない大器だった。鳥取藩の周旋方として刃を奔走し、諸藩の志士と交わり、維新後は鳥取、北海道、京都の官吏として尽力する。大手製薬メーカーの研究施設や製造施設等のクリーンルームで使用される、特殊空調制御システムの設計・開発・保守を担う業界覇者。空気を意識のままでコントロールできる知識と技術を備え、各取引先との信頼関係は厚く強い。省エネ実現のための空調システムを自社開発するなど、新時代を拓く担い手でもある。

**アミエル税理士法人／(株)コア・コンサルティング**代表取締役 留目 津氏
神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-9

橋山佐渡は二十二歳で盛岡藩の家老に抜擢され、相次ぐ一揆の収拾や疲弊した藩財政の建て直しなどに奔走し、藩主からの信任も厚かった。薩長より会津を討つことを命じられながら奥羽越前藩同盟参加を決意。反新政府を貫き続け、藩論をリードした東北強に溢れる英傑であった。遺産整理や相続税に強みを持つ会計事務所として、また売上・集客アップや資金調達支援を始めとしたコンサルティングで中小企業をサポート。世界で活躍する企業家を育てるべく、海外進出へのチャレンジも積極的提案している。日本の未来を支える子供達の将来を見据えた視点で手腕を発揮する英傑である。